

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
TEL 06-6765-8904  
FAX 06-6765-8905

# 「過大・過密」「教室不足」「教員不足」解消にむけ 地域に根ざした支援学校整備を

## 「府内各地域に知的障がい支援学校の新校整備を求める請願」署名



一人ひとりねがいを語りながら  
署名を手交しました

### 大阪府議会に2万2992筆

2月28日、大阪の障害児教育をよくする会（以下、よくする会）、大阪障害児・者を守る会、障害者（児）を守る会、大阪連絡協議会、全国障害者問題研究会大阪支部で構成する大阪障害児教育連動連絡会は、今年で6年目となる「府内各地域に知的障がい支援学校の新校整備を求める請願」署名を大阪府議会事務局に提出しました。  
提出行動には、各地域のよくする会や障害児者団体などから11人が参加し、一人ひとりがねがいを語りながら署名を手交しました。署名は後日集約分を合わせて2万2992筆に達しました。

### 府内各地域に抜本的な支援学校増設を

署名提出にあたって、よくする会の岩田会長は、支援学校の新たな整備計画に対して感謝の意とともに、「今の計画だけでは、長時間通学や間仕切りの教室など劣悪な環境下で今苦しんでいる子どもたちすべてを救うことはできない。今の広域の通学区域割の支援学校では、子どもたちは地域から分断されてしまっている。安心安全で地域に根ざした学校に通えるよう府内各地に支援学校をつくってください」と訴えました。

そのほか、参加された保護者、障害者団体の方から、ねがいや思いを訴えて、署名を手渡しました。当日の署名提出の様子は、朝日放送テレビが取材し、ネットニュースとして公開されました。

### 府民や保護者に実態を知らせ、多くの署名集約へ

今年度の請願署名のとりくみでは、署名用紙やリーフ（A5サイズ）に知的障害支援学校の「過大・過密」「教室不足」などの劣悪な学習環境の実態がわかるように、写真を掲載しました。そして、障害者団体や労働組合、民主団体に協力を依頼し、署名やリーフを広げました。今年度も、府内各地で署名宣伝行動にとりくみ、広く府民に実態を知らせながら署名を呼びかけました。また、保護者へも働きかけ、PTAで署名活動にとりくんだ学校もあります。この間、大阪の知的障害支援学校の実態を、朝日放送テレビがさまざまな角度から取材されており、それが特集として3月12日に放送される予定です。これまでのとりくみをはじめ、広範な府民に実態を知らせることができるといえます。

3月12日(火) 朝日放送テレビ「ニュースおかげり」にて、特集として放送予定。  
公式YouTubeチャンネルにもUPされます。

ユーチューブABCテレビニュース

### 私たちの運動の力でつんだ新校整備

「知的障がい支援学校の新校整備を求める請願」署名は6年間で16万9802筆を集約し、府議会に提出してきました。2024年度当初予算案では、昨年度の2校の新校整備計画に続いて、「田野支援学校四條畷校の本校化（小学部設置）整備」が新たに予算化されました。これは、この間、府教委に対して「四條畷校の本校化」を求めて、四條畷校分会をはじめ、「北河内の障害児教育を進展させる会」を中心に、教職員・保護者・関係者が力を合わせ、粘り強く運動をすすめてきた成果です。しかし、「過大・過密」「教室不足」

「東大阪の障がい児教育をよくする会」でとりくんだ「東大阪市に小・中・高等部の3学部を設置した知的障がい支援学校の建設を求める府議会請願署名は、2月14日大阪府議会事務局に提出しました。当初の目標を大きく上回り、最終2万2290筆を集約しました。ご協力ありがとうございました。

### 書記局の musuju

2月14日、東大阪の障がい児教育をよくする会（以下、東大阪よくする会）が「東大阪に小・中・高等部の3学部を設置した知的障がい支援学校建設を求める」請願22290名分を府に提出しました。この日の署名提出行動は、朝日放送がニュース報道し大きな反響がありました。

筆者は東大阪よくする会の事務局を担っています。八尾支援学校の教室不足、間仕切り教室、老朽プレハブ校舎など劣悪な学習環境の改善のため、地元から声をあげることが必要と話し合い、昨年5月から署名運動を開始しました。

「署名は財布に入れて持ち歩き、PTA、ママ友、学校の先生、自治会役員など出会った人にはその場で書いてもらった」「デイサービス等の事業所49カ所に手紙を添えて、署名を送付。次々に署名が寄せられた」など保護者の活動が広がりました。東大阪市立学校の退職教職員が「東大阪市の子どもたちに学校を残そう」と大奮闘しました。街頭宣伝は11回に及び「東大阪市の知的障害支援学校がないとは知らなかった」「知的障害児の学校だからと軽んじないで」という声が市民の中に広がりました。変化は確実に起こっています。3月8日開催の東大阪市議会、共産党の神戸市議の質問に対し、東大阪市教委教育部長は、「八尾支援学校の小学部及び中学部に在籍する児童生徒の半数以上が市内在住者」「東大阪市内に小学部・中学部・高等部の3学部ある知的障害にかかると支援学校を新設することを府に要望」と回答しました。私たちは諦めません。拙歌を掲げてコラムの結びとします。

・二万筆の署名出し終え保護者たち  
梅の香みつるペンチに憩えり(S)

# 「先生が足りない」実態に応じた教職員の増員を

## 障害のある教職員への合理的配慮、寄宿舍教員の採用選考実施等を訴え

### 大障教課別交渉（教職員人事課・高等学校課）

2月2日、大障教は教職員人事課・高等学校課と課別交渉を実施しました。交渉には、14分云19人が参加し、障害のある教職員への合理的配慮、学校の実態に応じた教職員の増員、障害児学校の実態に見合った事前任用措置、寄宿舍教員の採用選考実施などを求めて訴えました。

交渉での主なやりとりを紹介します。

#### 合理的配慮として研修会等に手話通訳派遣を



だいせん聴覚支援分会 世森さん

修における手話通訳は、個々に状況を聞いて対応する」と回答しました。

だいせん聴覚高等支援学校分会は、聴覚障害のある教職員が研修会等に参加したくても手話通訳等の情報保障がないために受講をあきらめるケースがあることを示し、合理的配慮として必要な予算措置を求めました。高等学校課は、「合理的配慮が必要という要望があればするべき、研修」と説明しました。

#### 寄宿舍教員の採用選考の再開を

寄宿舍教員部は、正規の寄宿舍教員の年齢構成や平均年齢、臨時的任用の人数構成などを資料で示し、極めて異常な実態を改善することと専門性を継承するためにも、ただちに採用選考を実施するよう求めました。

教職員人事課は、「現在の高年齢化している現状、正規職員が減少しているという課



寄宿舍教員部 白木さん

題を課としても認識し、採用の可否について検討しているところである」と回答がありました。

#### 産育休の代替教員の事前任用措置の拡充を



女性部 前田さん

女性部は、産育休の代替教

栄養教員部は、「代替が見つからず、不安な状況で産休に入っている」実態を訴え、府で講師登録制度を導入することを求め、体育実技軽減については、職務軽減のために、栄養士の資格がある方を配置

#### 栄養教員の産育休・病休代替、体育実技軽減のすみやかな配置を



栄養教員部 林さん

置が必要となった場合には、これまで、代替教員の確保に努めてきた。今後とも、代替教員の速やかな確保に資するよう、効果的な手立ての検討実施に努めてまいりたい」と説明しました。

#### 障害児学校の実態に応じた教職員の増員

寝屋川支援学校分会は、この間の児童生徒数と教員配置数の推移を資料で示し、「過大・過密」の進行と小学部の激増によって児童生徒に対する教員比率が減少していることや欠員などによって教員不足が深刻化している実態を訴えました。枚方支援学校分会は、児童生徒数を教員数で割った時に教員一人に対する児童生徒数は、開校当初2.21



寝屋川支援分会 山岡さん

教職員人事課は、「標準法」に基づき、学級数に応じて措置することを基本とする」とともに、障がいの重度重複



枚方支援分会 林さん

人だったが今年度は2.43人に膨れ上がっている。通学区域割変更に伴い、高等部生徒の大幅な減少で児童生徒数に対する教員比率が著しく悪化している実態を示し、教職員の増員を求めました。

員の事前任用については取得するすべての教員に年間を通して措置されるようにすること。さらに、産育休後の代替者の年度末までの任用について、それぞれ他県の導入例

を示して求めました。教職員人事課は、「産育休の取得に対する代替措置については、学校運営に支障が生じないよう必要な措置を講じている」「欠員となっている



刀根山支援分会 橋岡さん

化への対応や、障がいの種別に応じた指導の充実などを図るため、それぞれの学校の状況を踏まえて、教員の加配措置を行っている」「標準法」上、高等部が減り、小中学部が増えることになるとは認識しており、加配を検討したが困難」との説明にとどまりました。

「標準法」に基づき、学級数に応じて措置することを基本とする。年度途中に転入があれば教職員を配置する。事務職員については、標準法に基づく配置を基本として学校の実情も考慮しながら配置をおこなっており、刀根山支援学校については、減らす予定はない」と説明しました。